

2018年7月30日発行

内村鑑三先生と好本督氏

矢野恭弘

「私がイギリスに住みついたのは、Mary (お嬢様) がいたこともあるが、イギリスの博愛精神、そして良くないことがあれば誰かが正すというところが気に入ったからだ。」

1971年の夏、英国 Oxford 郊外 Headington にあるお宅で、私が伺った好本督 (よしもと・ただす) さんの言葉である。第8回内村鑑三記念奨学生として、アマスト大学で2年間、その後、Oxford 大学で2年半学ぶ機会を与えられた私は、母校自由学園2代目学園長羽仁恵子先生の勧めにより、最晩年の好本さんに何度かお目にかかっ



た。

1878年、陸軍軍医 (のちに開業) の父の長男として生まれた好本さんは、中学 (旧制) 卒業後関西から上京して、縁戚にあたる英学者山縣五十雄氏の家に下宿して東京商業学校 (現一橋大学) に学び、聖書や内村先生の著書を読み集会に出席するようになった。卒業後、父の勧めで渡欧、Oxford 大学で学んだ氏は、1年半後に帰国して『真英国』という本を出版した。内村先生は、『聖書之研究』第18号 (1902年2月) に、「好本君は、東京独立雑誌以来の本誌の友人なり。(中略) 君は学ぶために英国に行きて、泣く者、憐れむ者となりて故国に帰れり…」と書き、『真英国』の数編を掲載した。

『真英国』は日本各地の盲学校に贈呈され、「英国の盲人」という一章は、盲青年たちを興奮させたという。盲人伝道を唱道し、盲人信徒を奮起させ、点字聖書の印刷や点字新聞の発行を促して、盲人の社会参加と平等のために尽力した好本さんは「日本盲人の父」と呼ばれている。

好本さんは、30歳で結婚した英婦人 Margaret さんの父が毛織物会社に勤めていたこともあってか、Oxford House という商會を設立し、神戸に支店をおき、ラシャ布を日本に輸入することを主な事業とした。内村先生の日記には、好本さんから冬物のスーツのためのラシャ地を寄贈されたこと、中国伝道 (医師を送る) 事業のために支援を受けたこと、内村先生が関西を訪れた時に好本さんの家に泊まったこと、東京で何回か会食をしたことなどが書かれている。

「困った時でも、いつでも、聖書を読んで祈りなさい。聖書を読めば力が与えられる。」これは、好本さんが亡くなる 1973年4月14日の半年ほど前、私が最後にお目にかかった時の言葉である。

(前自由学園学園長、渋谷聖書集會)

目 次

表紙・巻頭言	
目次・今井館ニュース発行趣旨・	学校・学寮だより ……8
内村鑑三の言葉・写真の説明…2	ブラジル サンパウロからの便り…12
内村鑑三記念キリスト教講演会（沖縄）…3	各地からの報告…13
無教会全国集会2018のご案内…5	定期集会・地域別特別集会等 ……15
内村鑑三研究セミナー報告…6	事務局便り…19
黒崎幸吉記念キリスト教講演会報告…7	維持会員募集のお知らせ・編集後記…20

『今井館ニュース』発行趣旨

NPO 法人今井館教友会は、キリスト教の精神に基づいて、今井館を維持・管理・運営し、内村鑑三（無教会の提唱者）及び彼につらなる者たちの広範かつ多面的な思想と活動を自ら調査・研究するとともに、他の個人と団体による調査・研究をも奨励・支援し、それら自他の調査・研究成果の社会一般への普及に努めて、正義と隣人愛を基調とする平和的な社会の形成と発展に寄与することを目的とする（定款第3条）。その目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として今井館ニュース発行を通じ「内村鑑三及び彼に連なる人々の思想と活動を調査・研究・発表する事業」を行うものとする（定款第5条3項）

内村鑑三の言葉

信、望、愛

内村鑑三

信は贖罪の信仰なり。望は復活の希望なり。しかして愛はこの信この望より来たる、神と人に対する深き広き愛なり。この特別の信とこの特別の望とありて、クリスチャンの特別の愛あるなり。われらが信、望、愛を唱うるは、ただに漠然たる一般的の信、望、愛を唱うるにあらざるなり。

（『聖書之研究』1910年10月、『内村鑑三信仰著作全集』7巻、教文館、1964年）

（選：NPO 法人今井館教友会理事長 大山綱夫）

表紙の写真について

好本 督（よしもと・ただす）氏の墓碑（写真矢野恭弘氏提供）

墓碑銘

TADASU YOSHIMOTO

DIED IN CHRIST JESUS

APRIL 14. 1973, AGED 94 YEARS.

FAITHFUL FRIEND TO THE BLIND OF

JAPAN.

MUCH LOVED HUSBAND OF

ELSIE MARGARET,

HELD IN DEAR MEMORY BY THE FAMILY.

“BE YE ALSO READY.”

MATTHEW 24 CH. 44 VER.

お墓は、英国 Oxford の北にある Wolvercote Cemetery に建てられているそうです。（K. N）